

「しつけ」ってなあに？

【プログラムのねらい】

子どもは成長とともに、家族の一員であるとともに社会の一員である部分が拡大していきます。それにともない、守るべき一定のルールが必要になります。「自主性に任せる」とか、放任主義ということとは異なります。子ども自身が自分に自信をもてるようになるためにも、ルールやマナーを身に付けていくことが大切であることを学習します。

【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

| | ○進め方 ○ことばかけ | 留 意 点 |
|-----------|---|--|
| 導入 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをします。 | <ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。 ○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようグルーピングしておきます。 ○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。 |
| 展開 40分 | <ul style="list-style-type: none"> ◎「ワーク1」のエピソードを読んでみましょう。エピソードの中で気付いたことをメモ欄に記入しましょう。 ◎それぞれの異なる立場（「よしきくん」、「よしきくんのおかあさん」、「待っている友だち」）で考えましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○気が付いたこと何でもいいですからメモするように話します。 ○ブランコは子どもたちが大好きな遊びです。しかし、どこの公園でもブランコの数より乗りたい子どもの数が多くて、順番待ちが生じます。小さなトラブルも発生します。今までの体験をもとに気付いたことを書くように助言します。 ○よしきくんは、ブランコに乗りたい気持ちが大変強いこと。自分が先に乗っていたという言い分を押さえておきます。 ○まもなく3歳という子どもにとっては、順番を守ることは難しいことですが、時間をかけて教えていくべき大切なことであることを確認します。 |

| | | |
|------------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎「ワーク2」に従って、グループで話し合ってみましょう。 ◎エピソードのような場面で困ったことはありますか。 ◎エピソードの場面であなたならどうしますか。 ◎現在、しつけで困っていることはありますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ○各グループを回り、意見交換の様子や出されている意見の内容について把握しておきます。 ○会場を回りながら、出されている意見は共感的に受け止め、コメントをします。 ○望ましい「しつけ方」についてばかりではなく、自分（の家庭）なりの「しつけ方」のヒントが見つければよいことを強調します。 ○「子育て」や「しつけ」で悩むことは辛いことかもしれませんが、親の成長につながることを話します。 |
| まとめ 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり) ○発表してもらいます。 | <ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○社会の一員として生活していくためには、ルールが必要であり、そのためにもしつけが大切であることを話します。また、プログラム集P40の資料「しつけには次の2つのことがあります」を活用しまとめます。 |

※ 設定時間が短い場合には、ワーク1を中心に流れを考えるようにします。